

今回のテーマは仕事（役割）

仕事をはじめれば、依存症は治ったと思われがちですが、働くこと、人の中で生きていくことは、本当は回復の1つの過程ではないでしょうか。仕事が回復のゴールではないと考えてみたとき、初めて見えてくる、依存を使わずに人付き合いをしていく大変さや、「当たり前」を求められる苦しさ、自分を許し、やり過ぎないことの大切さ、役割や居場所があることの意味、依存症からの回復とはなにか…みんなで、聴いて、食べて、話しましょう！

- 13：30～ 開会のあいさつ
- 13：40～ 当事者の体験談
- 14：40～ 休憩（20分）
- 15：00～ グループに分かれて意見交換・交流
- 16：10～ 閉会のあいさつ
- 16：30～ 交流会（軽食あり）

交流会も
参加無料♪



KLS チームについて

私たち「京都女性の回復を支援する会（KLSチーム）」は、様々な依存症（アルコール・薬物・ギャンブル・買い物・ネット依存・摂食障害・クレプトマニア等）を持つ女性が、自らオーダーメイドの回復プログラムを作れる環境を目指し、当事者と支援者が共に作った任意団体です。

依存症からの回復は「依存行為を止めれば終わり」ではありません。なぜなら、彼女たちは多くの場合、依存以外にも様々な困難を抱えているからです。例えば、アメリカのある調査では「薬物依存症を持つ女性の2～3人に1人はPTSD症状を持っている」「薬物依存症とPTSD症状を持つ女性は、幼少期に身体的、性的な虐待を受けていることが多い」ことが分かっています。

問題が多岐にわたる場合、一つの機関や自助グループだけで対応するのは困難であり、多くの機関がネットワークを作り、回復を支えることが必要です。しかし、今の日本ではそのような環境はまだ整っていません。KLSチームでは、自身や家族に依存症の問題を抱えた女性の生きづらさを理解し、各々の「回復」とは何かを一緒に考え、ネットワークの中で支えることを目標に活動しています。

どうぞ今後ともみなさまのご協力をお願い申し上げます。